

子育て応援だより

～10月号～

No.256



ベビー用品レンタル残数
R6.9月末時点
・バス：3
・ベッド：1
・スケール：2

1 育児休業制度を活用しましょう！

育児休業制度とは子育てと仕事を両立させる手助けとなる制度です。1歳未満のお子さんにつき取得できる「育児休業」や出生から8週間以内に4週間の休業を取得できる「産後パパ育休(出生時育児休業)」など様々な制度があり、これを活用することで「産後うつ」の緩和やストレス軽減、「育児の進めやすさ」「家族の結びつきの深まり」などのメリットがあります。

「自分が取得できるのか分からない」といった方はまずお勤め先にお尋ねください。



厚生労働省 育児休業制度特設サイト
「パパもママも、仕事と育児を両立できるように育児休業制度を活用しましょう！」



厚生労働省 育児休業制度特設サイト
両立支援のひろばQ&A集
「働く方々へ」



2 認定こども園の園児学について

「どの園に通おうか?」「園の特色を知りたい」と思われる方は園児学を通じて園の雰囲気や、先生や子どもたちと触れ合うことで通園のイメージ作りをされると良いかもしれません。園児学は各園おこなっていますので直接園へお問合せください。



今月の子育て関連イベント情報



1日 (火)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん> 運動遊び<じゃん・けん・ぽん> おはなしのへや<市民図書館> 14:30~ 場所: 1階 児童室	17日 (木)	戸外遊び<じゃん・けん・ぽん>
2日 (水)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん>	18日 (金)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん>
3日 (木)	戸外遊び<じゃん・けん・ぽん>	19日 (土)	
4日 (金)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん>	20日 (日)	
5日 (土)		21日 (月)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん>
6日 (日)		22日 (火)	身体測定<じゃん・けん・ぽん>
7日 (月)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん>	23日 (水)	向洋保育園の園庭で遊ぼう<じゃん・けん・ぽん>
8日 (火)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん>	24日 (木)	お母さんのティータイム<じゃん・けん・ぽん>
9日 (水)	運動遊び<じゃん・けん・ぽん>	25日 (金)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん> おはなしのへや<市民図書館> 16:00~ 場所: 1階 児童室
10日 (木)	運動遊び<じゃん・けん・ぽん>	26日 (土)	
11日 (金)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん>	27日 (日)	
12日 (土)	おとぎのひろば<市民図書館> 14:00~ 場所: 2階 会議室	28日 (月)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん>
13日 (日)		29日 (火)	おもちゃで遊ぼう<じゃん・けん・ぽん> お花教室<フラワーキッズ> 16:00~ 参加料: 600円 ※定員に限りがあります。
14日 (月)		30日 (水)	赤ちゃん&プレママデー<じゃん・けん・ぽん> 空手教室<フラワーキッズ> 16:00~ 指導者: 新国際空手道連盟 芦原会館 ※動きやすい服装でお越しください。
15日 (火)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん>	31日 (木)	自由遊び<じゃん・けん・ぽん>
16日 (水)	ミニミニ運動会 ※要予約		



←津久見市の子育て関連
イベント詳細はこちら



母子モ(ボシモ)で検索!
母子モ 検索



☎社会福祉課 子育て支援班 ☎0972-82-9519

子どもの健康と病気の予防②

- マイコプラズマ肺炎 -

小宅医院 小宅民子

マイコプラズマ肺炎が8年ぶりに大流行しています。8月現在で、去年に比べ14倍となっています。このまま冬まで増加すると考えられます。

マイコプラズマ肺炎は、感染してから2〜3週間で症状があらわれます。飛沫感染(せきやくしゃみなど)や接触感染(病原体のついた手や鼻をさわるなど)でひろがります。こどもが多く、約80%が14歳以下です。主な症状は発熱・倦怠感・頭痛・のどの痛みではじまり、咳の症状が続きます。新型コロナウイルスやインフルエンザとの大きな違いは、数週間(3〜4週)持続する頑固な咳です。

ほとんどの場合マイコプラズマに感染しても、一般的な風邪と似たような症状が1週間程度続き改善傾向となります。ただし、感染が進むと約10%がマイコプラズマ肺炎を引き起こし、重症化してしまうことがあります。

治療の第一選択はマクロライド系の抗生剤です。代表的な物としてはアジスロマイシン(ジスロマック)、クラリスロマイシン(クラリス、クラリシットなど)、エリスロマイシン(エリスロシンなど)です。しかし、最近ではマクロライド耐性のマイコプラズマが増えています。48〜72時間以内に解熱しないときには耐性菌と判断し、トスフロキサシン(オゼックス)やテトラサイクリン系(ミノマイシンなど)が投与されます。

マイコプラズマ肺炎は、発熱と乾いた咳が長く続き、潜伏期間も2〜3週間と長く、いつ感染したかわかりづらいため、風邪だと思い人にうつすケースが多いといわれています。

予防は手洗い・うがい・マスクの着用などです。特に咳エチケットを心がけましょう。



マイコプラズマ肺炎 5つのポイント!

- ①今年には8年ぶりに大流行
- ②症状は熱・倦怠感・頭痛・のどの痛み・長引く咳
- ③治療の第一選択はマクロライド系の抗生剤
- ④最近ではマクロライド耐性のマイコプラズマが増加
- ⑤予防は手洗い・うがい・マスクの着用・咳エチケット

